

日本社会保障法学会会報 第29号

発行日：2010.9.7 発行人：木下秀雄 編集人：秋元美世 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学社会学部秋元研究室 気付
Tel：03-3945-7532 Fax：03-3945-7626 E-mail：sslaw@toyo.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/ 会員数：590名（2010年9月1日現在）

第58回秋季大会開催案内 事務局長 秋元美世（東洋大学）

日本社会保障法学会第58回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ・ 日 時：2010年10月16日（土） 10:00～17:00
- ・ 会 場：東京経済大学 国分寺キャンパス（〒185-8502 国分寺市南町1-7-34）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
総会・シンポジウム会場：2号館 3階 B 301教室
- ・ お問い合わせ先 Tel：042-328-7850（現代法学部 橋爪幸代 研究室）
- ・ 大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）
受付開始……………9:30
開会……………10:00

共通テーマ・シンポジウム

「医療制度改革の到達点と今後の課題」

司会：新田秀樹（大正大学）

西田和弘（岡山大学）

○加藤智章（北海道大学）……………10:00～10:45

「医療保険制度の変容と保険者のあり方」

○稲森公嘉（京都大学）……………10:45～11:25

「医療保険給付の範囲」

総会・開催校あいさつ……………11:25～12:00

休憩（昼食）……………12:00～13:00

共通テーマ・シンポジウム（続き）

○石田道彦（金沢大学）……………13:00～13:40

「医療提供体制に関わる法制度の変化と課題—医療計画を中心に」

○国京則幸（静岡大学）……………13:40～14:20

「地域医療の展開のための医療の人材確保の課題について」

○原田啓一郎（駒澤大学）…………… 14:20～15:00
「医療安全対策の展開と課題—医療サービスの質と安全性の向上にむけて」

休憩…………… 15:00～15:15

○シンポジウム・質疑応答…………… 15:20～17:00

大会終了…………… 17:00（予定）

※今回は個別報告はありません。

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2010年10月6日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 品田充儀（労働保険審査会）

2010年10月16日（土）に東京経済大学で開催される第58回秋季大会のシンポジウムのテーマは「医療制度改革の到達点と今後の課題」であり、報告者は、加藤智章会員、稲森公嘉会員、国京則幸会員、石田道彦会員、原田啓一郎会員の5名です。このメンバーに西田和弘会員、新田秀樹会員を加えた報告者グループは、合宿を行なうなど綿密な打ち合わせを行なってこられました。全員が医療および医療保険問題のプロフェッショナルといえる精鋭ぞろいであり、レベルの高い活発なシンポジウムになることが期待されます。なお、今回は個別報告者の申し出がなかったため、シンポジウムの時間を少し長めにとることになりました。

第59回春季大会は、2011年5月14日（土）に沖縄大学で開催される予定となっています。シンポジウムのテーマは、「地方分権と社会保障の将来像（仮題）」であり、すでに数回にわたる研究会を開催し、準備が進められています。現段階の報告予定者は、石橋敏郎会員、新田秀樹会員、下井康史会員、衣笠葉子会員、小西啓文会員の5名です。個別報告者も1名予定されています。さらに第60回秋季大会（開催地未定）は、「職業生活の中断と社会保障（仮題）」というテーマが決まっており、すでに中野育男会員、水島郁子会員を中心とした報告者グループが立ち上がり、報告の具体的な内容が決まりつつあります。第61回以降のシンポジウムテーマについても、企画委員会内ではいくつかの案が出されていますが、現段階では決定されていません。会員の皆様のアイデアや希望をお待ちしていますので、是非ともご意見を頂戴したく思います。よろしく申し上げます。

学会誌投稿論文の募集状況について 企画委員長 品田充儀（労働保険審査会）

学会誌投稿論文を募集しています。締切（2010年9月30日（必着））が迫っていますので、ご応募くださいようお願い申し上げます。なお、原稿の分量は14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内と、従来に比べ少し増やしていますので、是非チャレンジしてみてください。

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 品田充儀（労働保険審査会）

2010年度（第7回）学会奨励賞候補作品の推薦（自薦を含む）を募りましたが、今期については推薦がありませんでした。来年度も引き続き募集をしていきますので、是非ご推薦いただきますようお願いいたします。

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 加藤智章（北海道大学）

- 1 学会誌 26 号の原稿締切は、例年通り、12 月 20 日です。関係する会員の皆様には締め切り厳守をお願い致します。57 回春季大会で御報告いただいた皆様には、執筆要領を配布していると思えます。58 回秋季大会でご報告予定の皆様には、執筆要領を学会時に配布する予定です。よろしくお願ひ申し上げます。
- 2 学会誌 25 号の正誤表について
学会誌 25 号におきまして、編集ミスがありました。ご訂正お願いいたします。

	誤	正
78頁 西田	…支給決定が法定されたが…	…支給決定手続は法定されたが
79頁 西田	確かにその通りで、医療、福祉に強い法曹の養成も必要であると考えている。社会福祉の専門家に法的部分に期待はしたいが、弁護士法との関係で難しい部分もあるかもしれない。	確かにその通りで、社会福祉の専門家に法的素養も期待はしたいが、弁護士法との関係で難しい部分もあるかもしれない。医療、福祉に強い法曹の養成も必要であると考えている。
79頁 西田	一般的に処分性は認められるのではないか。	処分性が認められる余地はあると思う。ただ、本報告は権利性に着目したもので、処分性自体は考察していない (*) 。
79頁 西田	特定個人へのサービス給付の通知、という形式になれば、当然処分性が認められると思う。ただ、通知形式は自治体によって異なっている可能性がある。	西田：特定個人への決定通知という形式だから処分性があるというわけでもない。形式だけでは、書面か否か自治体の対応によって異なる可能性がある (*) 。
79頁 西田	審査請求の対象にはならないのではないか。以上、ご意見を踏まえて論文に反映させていただきたい。	西田：審査請求の対象たりうるか、労災就学援護費最高裁判決のような解釈が可能か、自立支援法77条1項1号の規定から、処分性を導けるかなど、処分性については慎重な検討が必要だと思う。ご意見を踏まえて今後検討させていただきたい (*) 。

(*) は、質疑応答後半に行われた補足回答の内容を編集の都合上組み入れた内容。

	誤	正
84頁	義務三分法」障害者権利条約の義務論	「義務三分法」と障害者権利条約の義務論」
87頁注14	「（判タ945号342頁）」	削除

新講座編集委員会からの報告 総括編集委員 木下秀雄（大阪市立大学）

前回の総会でもご報告いたしましたように、この間、「新・社会保障法講座（仮称）」（全3巻）の刊行に向けて、各巻編集委員会、統括編集委員会で検討を重ねて参りました。その結果、各巻のタイトル、章構成、執筆者などが決まり、8月上旬に各執筆者に依頼いたしました。現在のところ、各巻のタイトルは次のとおりです。第1巻「これからの医療と年金」、第2巻「地域生活を支える社会福祉」、第3巻「ナショナルミニマムの再構築」。

今後、2010年10月と2011年5月に執筆者会議を開催したうえで、2012年5月に全巻同時刊行の予定です。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2010年度5月定例理事会

- ・日時：2010年5月14日（金）16：00～18：00
- ・場所：名古屋大学 東山キャンパス 法学部第1会議室
- ・議事内容
 - ①第57回春季大会の運営について（略）
 - ②第58回秋季大会の運営について（略）
 - ③第59回春季大会の運営について（略）
 - ④第60回秋季大会以降の運営について（略）
 - ⑤学会誌投稿論文・奨励賞について（略）
 - ⑥学会誌編集委員会より（略）
 - ⑦2009年度決算報告・2010年度予算（案）について
会計担当の新田理事より2009年度会計の決算について報告。山田監事の監査報告を受けて承認。秋元事務局長より2010年度予算（案）についての提案。承認。
 - ⑧国際交流委員会より（略）
 - ⑨日本学術会議関連の動きについて（略）
 - ⑩新講座の刊行作業について（略）
 - ⑪入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
 - ⑫第15期理事・監事選挙について（略）

○2010年度7月定例理事会

- ・日時：2010年7月10日（土）16：00～18：00
- ・場所：東洋大学 白山キャンパス 5号館（大学院棟）5101教室
- ・議事内容
 - ①第58回秋季大会の運営について（略）

- ②第59回春季大会の運営について（略）
- ③第60回秋季大会以降の運営について（略）
- ④学会誌投稿論文・奨励賞について
今年度については奨励賞該当論文なし。
- ⑤学会誌編集委員会より
学会誌25号の正誤表を会報（29号）に掲載する。
- ⑥国際交流委員会より
特に報告事項はなし。
- ⑦日本学術会議関連の動きについて
特に報告事項はなし。
- ⑧新講座について
会報（本号）の「新講座編集委員会からの報告」を参照。
- ⑨第15期理事・監事選挙について
秋元事務局長より、第15期理事・監事選挙実施要項（案）が提示され、承認された。
- ⑩入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2010年5月14日（金）、7月10日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
（順不同、敬称略）
一戸 真子（上武大学）、下井 康史（新潟大学）、所 浩代（北海道大学大学院法学研究科）、田中 智子（大阪市立大学大学院）、山下 慎一（九州大学大学院）、篠本 耕二（西武文理大学）
- ・2010年5月14日（金）、7月10日（土）の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。
（順不同、敬称略）
蔦川 忠久、植田 美佐恵、千々岩 力、中村 律子、古瀬 徹、松本 克美、水野 勝、宮崎 定美、田中 幹夫、出口 治男、西 三郎、田中 孝明、中村 睦男、竹澤 喜心、菅原 京子、立岡 浩、木原 章子、津田 千穂子、岡村 世里奈、岡本 悟、奥田 香子、金子 征史、木下 壽國、佐藤 吉弥、三浦 辰哉

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

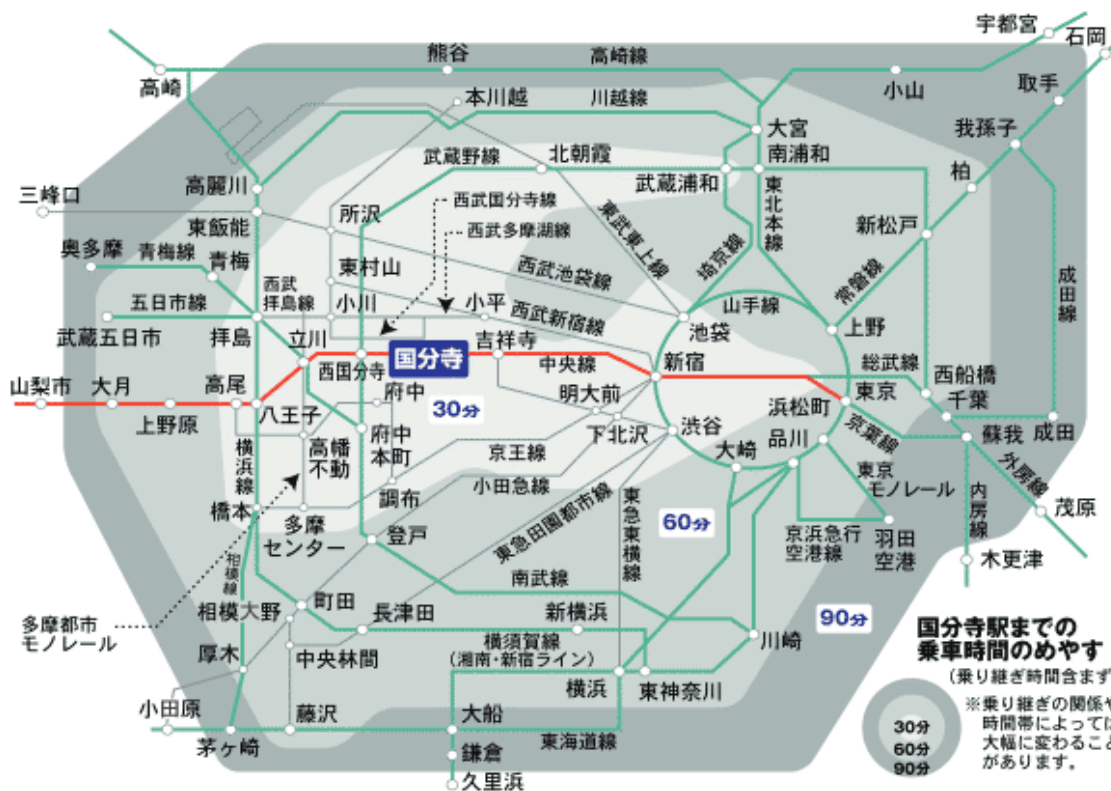
英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

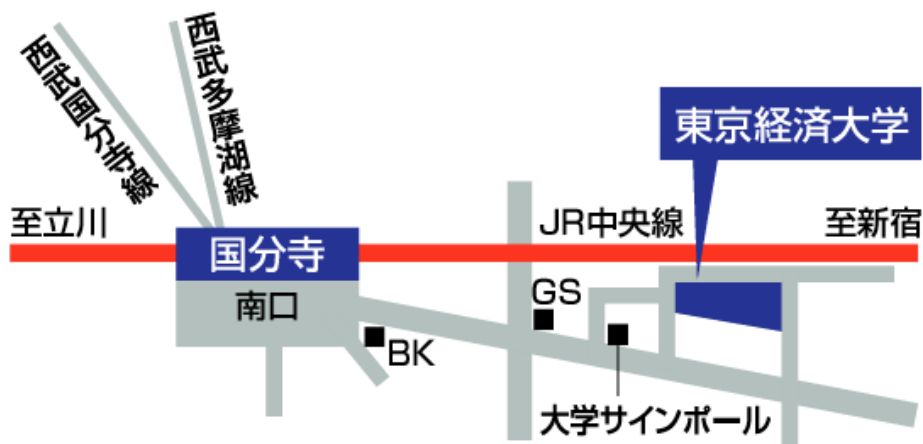
第59回春季大会は、2011年5月14日（土）沖縄大学にて開催される予定です。

■東京経済大学 国分寺キャンパス アクセスマップ

国分寺キャンパス（各鉄道からのアクセス）



国分寺キャンパス（国分寺駅からのアクセス）



JR 中央線「新宿駅」から「特別快速」電車で、「国分寺駅」まで約 21 分、「快速」電車で 31 分です。
JR 中央線、西武国分寺線・多摩湖線「国分寺駅」南口より徒歩 12 分です。

※駐車場スペースの関係で、原則としてお車でのご来校はお断りしております。
尚、タクシーをご利用の場合は、正門には停車できませんので、東北門へお回りください。

